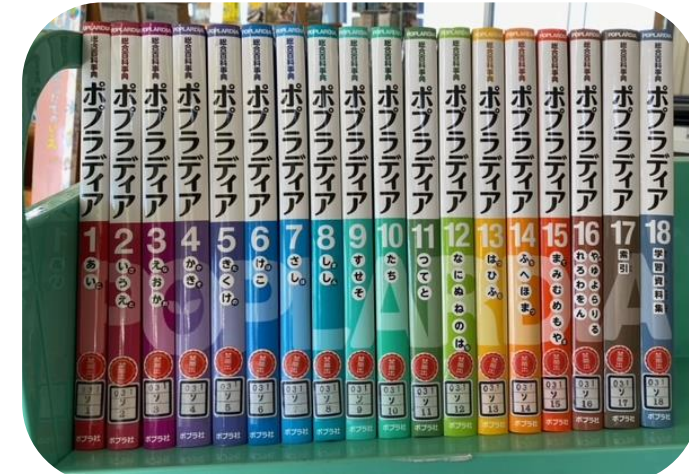




新刊情報！「鬼滅の刃」「ドラクエ」も！

日本で唯一の小中学生向け総合学習百科事典

「ポプラディア」（ポプラ社）10年ぶりに大改訂！！



## 12月の図書館関連の予定

13日（月）～24日（金） 冬休み前の特別貸し出し（10冊まで）  
……長い間、本を借りたままの人は速やかに返却してください。

13日（月） 3年生家読（うちどく）提出期限

## 何でもネットで調べられる時代に

### なぜ百科事典なの？

調べ物といえばインターネットが学校でも家庭でも主流になっています。早くて、たくさん、情報が集められるという点でネット検索はもちろん便利ですが、裏を返せば、「たくさんありすぎて、自分の求める情報にたどりつけない」「情報の真偽が不確かである」という短所にもつながります。

百科事典は多くの専門家の目と手によって作られ、読者が理解できるように解説が磨き抜かれています。

また調べる目的の項目以外にも、同じページに他の分野のたくさんの項目がちりばめられていて思わず読みたくなる「魅力的な寄り道」が用意されています。この「知的な寄り道」がAIにはマネできない好奇心や探究心を養うのに役立ちます。

何でもネットで調べられると思われがちな社会だからこそ、百科事典は必要なのです。

ぜひ、新しくなった「ポプラディア」を手にとってみましょう。

裏面も見ましょう。

今年の世相、どんなかんじ？～図書委員がズバリ予想！～

## 今年の漢字はなんだろう？

なぜ12月12日が漢字の日なの？



「いい字一字」＝「いい（1）字（2）－（1）字（2）」という語呂合わせから。

ちなみに昨年は「密」...読み方（ミツ・ビツ／ひそかに・こまかい）

世界中が新型コロナウイルス感染症流行の影響をうけた1年。3「密」という言葉の提唱がされ、生活様式が「密」にならないよう国民が意識し続けた。また政治判断が「密室」で行われたことや芸能界での「密」会報道などでも使われた年。

（参考：「公益社団法人 日本漢字能力検定協会」ホームページより）

みなさんが生まれた2006年（平成18年）は「命」、2007年（平成19年）は「偽」、2008年（平成20年）は「変」、2009年（平成21年）は「新」...

理由を知りたい人は図書館に調べにきてくださいね！



毎年、年末になると話題になるのが「今年の漢字」

その年をイメージする漢字一字を日本漢字能力検定協会が全国から募集をし、漢字の日である十二月十二日、京都の清水寺で発表が行われます。

（ただし、今年には十二月十二日が日曜日の影響なのか、発表は十三日のようです。）この「今年の漢字」は平成七年（1995）から続いて今年で二十七回目となります。さて、今年はどうな漢字が選ばれるのでしょうか。

図書委員も今年起きたニュースや出来事を振り返りながら「今年の漢字」を予想してみました。（中央階段に掲示されています。）



全校生徒・先生方の投票により、今年度のPOPコンテストの優秀作品（12点）が決定しました。優秀作品は中央玄関に掲示されていると同時に身延中ホームページでも閲覧できます。賞には選ばれなかった作品の中にも、魅力的なPOPが多数ありました。今回は、入選作品以外から、3年生図書委員メンバーの「推し」の作品を6点紹介します。



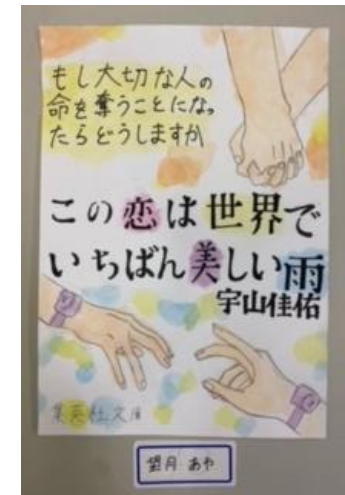
図書委員コメント：

「あなたはどんな地獄に行ってみたいですか?」というコメントがおもしろい。行きたくないけれど、ちょっと気になる「地獄」の世界。「地獄」なのになぜかユーモラスで笑顔になれる作品です。紙をちぎるなどして工夫しているところもいいですね!



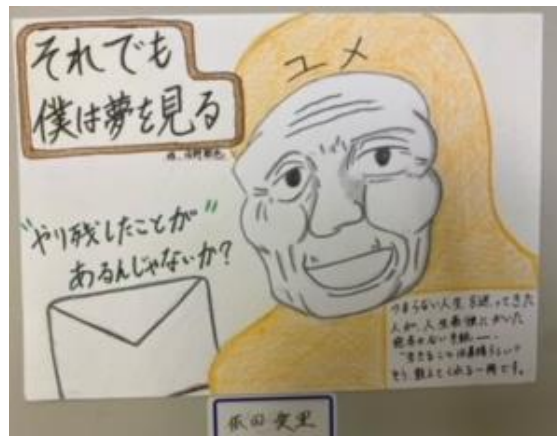
図書委員コメント：

小説でPOPを描く人が多い中で、「環境問題」に目をむけたところがとても新鮮! こういった本を読み、POPで表現することに尊敬します。青い地球と「PET」の文字にインパクトがあります。文字もきれいです。



図書委員コメント：

「もし大切な人の命を奪うことになったらどうしますか」というキャッチコピーにひかれます。差し伸べられた手、つながれた手も気になり、この作品を読みたくまりました。色もきれいで、とてもいねいに描かれています。



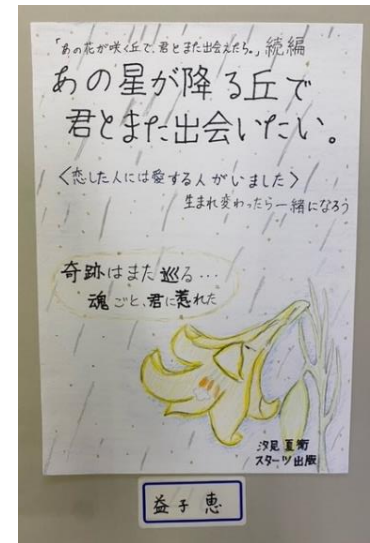
図書委員コメント：

「ユメ」の表情、存在が目飛び込んできてインパクト大! キャッチコピーも簡単な本の紹介も丁寧に描かれて、読んでみたいと思います。



図書委員コメント：

「犬好き」にはたまらないPOP。(by 図書委員長) 犬の表情が何とも良い。そして全体的にやさしい雰囲気が良い。フレンチブルドックの運命と飼い主は見つかるのか、気になります。



図書委員コメント：

花とバックに流れる星の雰囲気が良い。本の内容もとても興味深い。とてもきれいなPOPだと思う。

POPコンテストを振り返って  
～美術の小野先生より講評をいただきました～

- ・力作揃い。
- ・表紙や挿絵の真似ではなく、本をしっかり読み、内容を理解し、自分で考えながら作品づくりをしている生徒が多い。
- (もっと上達するための近道として)
- ・友達の作品をよく鑑賞すること。
- ・気に入った作品が見つかったら、どんな画材をつかっているのか、どんな塗り方をしているのかなど、作品に心を寄せることが大切。

全校生徒の作品は12月11日から身延町立図書館に展示されます。家族で出かけてみませんか?



図書委員会POP担当による開票作業